LINE
SMILE+
PROJECT

緊急時に役立つ
スマホ・LINE の使い方

LINE に関するお問い合わせ
https://help.line.me

LINE かんたんヘルプ
LINE ID: @line_help

“ホットライン”として作られたLINE

スマートフォンで使えるアプリ·サービスは、使い道によって緊急時に役立ちます。
2011年6月に誕生したLINEもそんなアプリの1つ。LINEは、電話回線がつながらなくても、インターネットがつながっていれば、いつでも·どこでも利用できます。家族や友だちなど、大切な人といつでもつながることのできる“ホットライン”としても使えるように、という想いも込めて、「LINE」はできあがりました。

例えば、「既読」マークは、緊急事態で返信ができなくても、自分のメッセージを読んだことだけでも確認できるように、と付けた機能です。

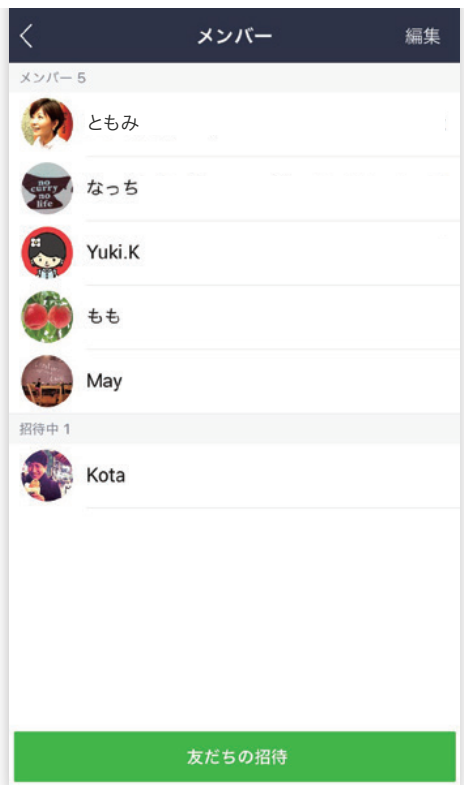
日常の連絡だけでなく、地震などの緊急時にも活用できるような使い道を知っておきましょう。

LINE で普段から準備できること

LINE のトーク（メッセージ）機能は、複数人で同時にメッセージの送受信をすることができます。
例えば、家族やご近所さんなど、緊急時に協力するメンバーでグループを作っておくと、いざというときの連絡網として便利。
すでに、一部の学校や地域では、LINE を保護者や家庭同士の連絡網として利用していただいています。

LINE の「・・・」（その他）ページ
「友だち追加」→「グループ作成」

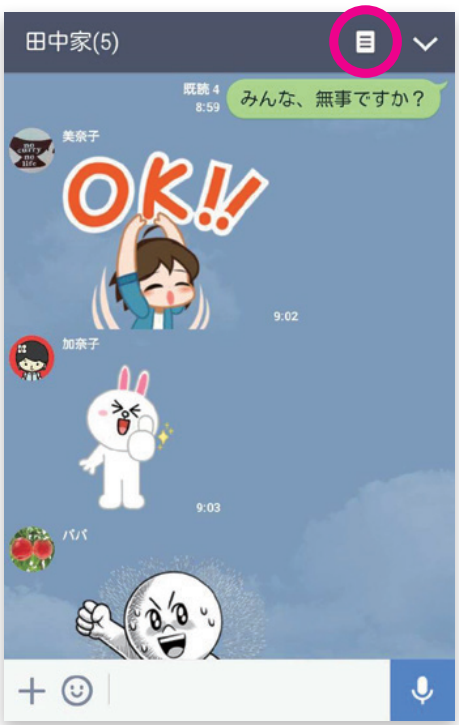
グループ名をつけて、追加したい人を
招待する



招待した人たちが全員「メンバー」
になったことが確認できたらグループ完成

いざという時に使う情報は「ノート」に保存

避難場所や緊急時の対応など、忘れてはいけない大切な情報は「ノート」機能にあらかじめ保存すると、
いつでもすぐに見返すことができます。



グループトークの上部「ノート」を開く

メモしておきたいことを文章や画像、
位置情報などで保存する

保存した情報は、
いつでも見返すことができます

居場所を知らせる

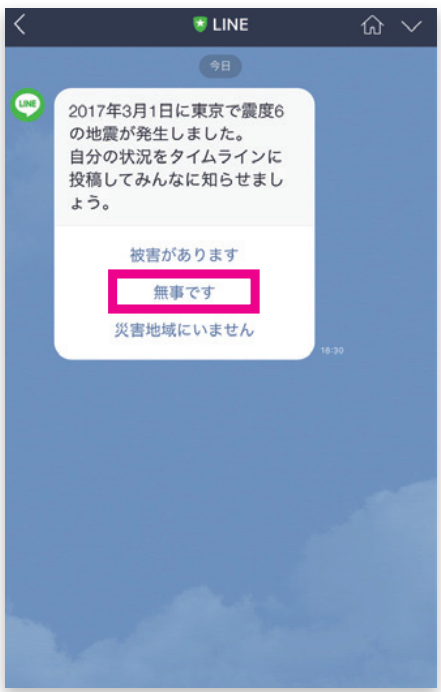
地図で送れる位置情報送信機能
LINE のトーク（メッセージ）やタイムラインには、住所・地図情報を送れるので、自分が今いる場所や集合場所などを正確に伝えることができます。トーク画面の「＋」マークから「位置情報」を選ぶと地図が表示されます。スマートフォンの GPS 機能を ON にしていれば、自分の居場所が表示され、そのままトーク画面に送ることができます。

「LINE 災害連絡サービス」で安否を知らせる／知る

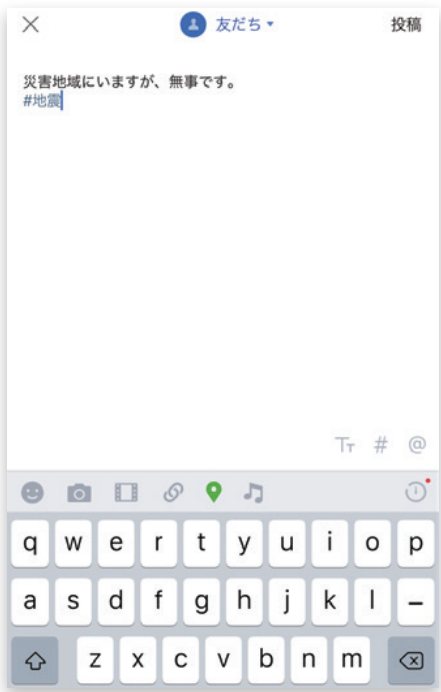
個別連絡をすることができなくても、LINE でつながっている家族や友だちと、
お互いの安否状況を知らせあうことができるのが「「LINE 災害連絡サービス」です。

大規模災害などが発生すると、自動的に LINE ユーザーの皆さんへ通知が届きます。

その中から　①被害があります　②無事です　③災害地域にいません　の３つのボタンから当てはまるものを
タップ（選択）すると、LINE のタイムラインページに自動的に自分の状況が投稿されます。



自動的に届くメッセージの中から今の
自分の状況を選択



自分のタイムラインに投稿可能
位置情報を付けることもできます

投稿されたものは自分の LINE の
友だちに見てもらえます

「ステータスメッセージ」で安否を知らせる / 知る

自分の現状を知らせる「ステータスメッセージ」は、「友だち」ページで自分の名前の横に表示されます。
そのため、LINE で友だちになっている人全員に見てもらうことができるので、緊急時にも”私は無事、みんな大丈夫？”など入力することで、友だちと状況を伝え合うこともできます。

いざというときの連絡方法と情報入手方法
緊急時に活用できるサービスはたくさんあります。

災害伝言ダイヤル
電話：「171」に電話をかける

災害用伝言板
災害時にはスマートフォン・携帯電話から災害用伝言板で、自分の安否を登録したり、家族の安否を確認したりできます。

NTT docomo：iMenu または d メニュー → 災害用安否確認 → 災害用伝言板
SoftBank：「災害用伝言板」アプリをダウンロード、または、「My SoftBank」→災害用伝言板
au：メニュー画面→ au 災害対策→災害用伝言板

Twitter
世界中の人が今の状況をツイートしているので、今どこで何が起きているのかを知ることができます
https://twitter.com/　（ウェブサイトまたはアプリ）